

パネルディスカッション1

「排痰補助装置の効果的な臨床使用と今後の展望」

趣意

排痰補助装置は気道クリアランスを確保する目的から非常に有用であるのに関わらず、国内においては十分に普及しているとは言い難く、また有効な設定や介助手技に関しても十分に周知されていないのが現状である。そこで各種排痰補助装置に関して国内においてトップランナーのシンポジストにお集まりいただき、排痰補助装置の効果的な臨床使用と今後の展望についてディスカッションいただく。

出演者

演者	竹内 伸太郎	国立病院機構北海道医療センター
	阿部 聖司	国立病院機構 西別府病院
	岡野 安太郎	国立病院機構 医王病院
	上田 博臣	滋賀県立小児保健医療センター 慢性呼吸器疾患看護認定看護師
座長	大野 進	滋賀県立総合病院 臨床工学部

座長
大野 進

滋賀県立総合病院臨床工学部 滋賀県立小児保健医療センター



一言メッセージ

これからの排痰補助装置について、エキスパートのシンポジストの知見を学んでいきたいと思ひます

演者

竹内 伸太郎

国立病院機構北海道医療センター 神経筋/成育センター & NIVセンター



一言メッセージ

筋ジストロフィー看護ひと筋26年で培ったNIVと気道ク
リアランスケアの経験を皆様と共有していきたいです

演者
阿部 聖司
国立病院機構 西別府病院



一言メッセージ

多職種で気道クリアランス療法を行うことは安全性、効果の面から見ても非常に有効
と思います。臨床工学技士は包括的に組織を横断できるバッファ（Buffer）と思っ
ています。リハ職種をはじめいろんな職種と協働して取り組む姿勢もきっと応援してく
れると思います。

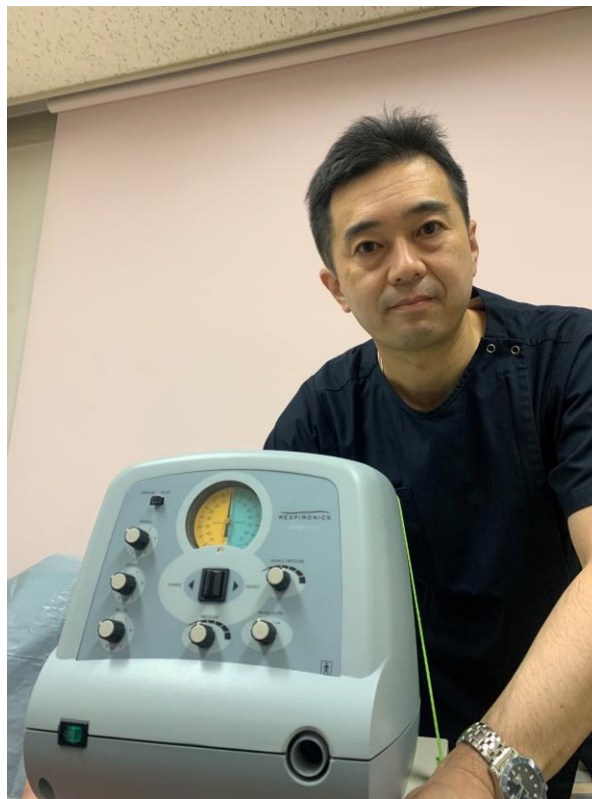
演者
岡野 安太郎
国立病院機構 医王病院



一言メッセージ

排痰補助装置と加温加湿について、より深く学んでいこう
と思います。

演者
上田 博臣
滋賀県立小児保健医療センター



一言メッセージ

COVID-19の患者さんでも、安心・安全・安楽に排痰ケアができることを紹介したいと思います